

安曇野市子育て支援に関するアンケート調査項目(案) について

標記の調査項目(案)の検討にあたり、調査の目的・概要と「資料4：調査項目(案)」の見方についてご説明します。

1 調査の目的

標記調査は、「第3次安曇野市子ども・子育て支援事業計画(令和7～11年度)」の策定のための基礎資料を得ることを目的に実施するものです。

今回のアンケート調査は、幼児期の教育・保育や子育て支援のニーズを把握することが主目的ですが、幼児期の教育・保育の質、子どもの貧困等に関する設問等も追加することで、保護者のニーズや家庭生活の実態などを幅広く把握し、施策検討の参考とします。

前回実施した調査票(就学前児童・就学児童)を添付しますので、ご参考としてください。

2 調査の概要

対象者①：就学前児童(0～5歳)世帯 約1,600人

対象者②：小学生1～4年生の世帯 約1,000人

調査時期：令和5年12月上旬～下旬

実施方法：対象者①②の世帯への郵送調査、WEB調査併用

3 調査設計方針

- ① 子ども・子育てニーズ調査には、国のモデル調査票があるため、これに準拠した設問を作成します。(標準項目)
- ② 子ども・子育てニーズ調査は、本市でも過去2度実施しています。国の標準項目に市独自の設問を加えて調査を行っています。今回の調査でも更に市独自の調査項目(貧困等)を加えて行う予定です。
- ③ 第3次子ども・子育て支援事業計画には、認定こども園民営化中長期ビジョン(平成30年制定)の改訂を併せて予定しています。政策検討に必要な保護者ニーズや子どもを取り巻く状況について幅広く把握を行います。
- ④ 国の標準項目が非常に多く、特に、就学前児童の調査項目数が膨大になることから、計画策定を想定した際に優先順位が低い項目について調査を行うか検討し、回答者の負担軽減を図りたいと考えています。

4 資料●:アンケート調査項目一覧の見方

調査項目全体を確認しながら、項目の要不要や質問・回答の表現などについても確認できるよう、調査項目を一覧表の形で示しています。

この表の見方について説明します。

<表頭の項目の意味>

① 【通番】

1行に1つの数字を振っています。通番を使ってどの項目についての意見なのかを明確にします。

② 【未就学／小学生】

アンケートの対象者に印を付けています。両調査で重複する項目が多いため、1表で整理しています。

③ 【分岐】

ある条件に当てはまる回答者のみが回答する項目に印を付けています。●の項目が起点となって、回答者によって回答する設問が変わります。国ニーズ調査の番号で分岐の条件を示しています。

④ 【調査項目・選択肢】

調査を行う「質問」と「回答の選択肢・自由回答欄」などの案を示しています。「黄色」の網掛けが新規項目として、「灰色」の網掛けを調査項目として残すか検討したいと考えています。

⑤ 【調査項目の分類（右端の3列）】

(ア)「国ニーズ」は、国のモデル調査票に準拠した項目です。（88項目）

(イ)「市独自」は、第2次計画策定時の調査の際に市が独自に追加した項目です。（9項目）

(ウ)「新規」は、今回←新たに市が独自に追加を検討している項目です。

新規の●の下に「貧困」「食育」「少子化」「ビジョン」というメモがあります。

それぞれ検討テーマとして考えているものです。（17項目）

<質問の構成等>

国標準と第2次の市の調査の質問の構成はほぼ同一でしたが、今回は回答しやすさを考慮して、母親と父親の回答欄を分離した関係で、順序が変わっていますが、構成要素は国標準・市独自を網羅しています。